

貸金庫規定（一般型）

2026 年 4 月 1 日現在

1. 契約の成立

当行は、お客様からこの規定の取引に係る、当行所定の申込書の提出を受け、当行がこれを承諾したときに、当該取引に係る契約が成立するものとします。

2. 格納品の範囲

- (1) 貸金庫には、次に掲げるものを格納することができます。
 - ① 公社債券、株券その他の有価証券
 - ② 預金通帳・証書、契約証書、権利書その他の重要書類
 - ③ 貴金属、宝石その他の貴重品
ただし、壊れやすいものは収納できません。
 - ④ 前各号に掲げるものに準ずると認められるもの
- (2) 当行は前各号に掲げるものについても、相当の理由があるときは、格納をおことわりすることがあります。
- (3) 貸金庫には、次に掲げるものを格納することができません。
 - ① 現金その他のマネー・ローンダリングおよびテロ資金供与等の不正利用の防止の観点からリスクの高いと考えられるもの
 - ② 危険物や変質、腐敗のおそれがある等、貸金庫の通常の用法による保管に適さないもの

3. 利用目的の確認

- (1) 貸金庫の契約の締結または利用等にあたっては、借主はマネー・ローンダリングおよびテロ資金供与等の不正利用の防止の観点から、格納物が 2.に定める範囲を逸脱することがないかといった利用目的を、書面その他当行の定める方法で、申出を行うこととします。
- (2) 貸金庫が、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与等、不正利用されることを防ぐため、貸金庫内外へのカメラ設置・記録や利用時の行員立ち会い等の適切な方法で貸金庫の利用状況を確認させていただきます。

4. 契約期間等

- (1) この契約の当初契約期間は、契約日から最初に到来する 3 月 31 日までとします。
- (2) 契約期間満了日までに借主または当行から解約の申出をしないかぎり、この契約は期間満了日の翌日から 1 年間継続されるものとし、継続後も同様とします。

5. 使用料

- (1) 貸金庫の使用料は、次の料金表記載の料率にしたがい、毎年 3 月および 9 月の 10 日（ただし、該当日が休日の場合は、その翌営業日）に前 6 ヶ月分を後払いするものとし、借主が指定した預金口座から、当座勘定規定あるいは普通預金規定にかかわらず、当座小切手の振出しあるいは普通預金の通帳および払戻請求書の提出を省略して払

戻しのうえ使用料に充当します。

なお、当初の使用料は、契約時に契約日の属する月を1ヵ月として、その月から最初に到来する使用料徴収期限までの分を月割計算により支払ってください。

＜貸金庫使用料 料率表（6か月当り、含む消費税）＞

種 類		サイズ（単位：cm）	手数料額
一般型	簡易貸金庫	（10.0×29.0 ×40.4）	4,455 円
	本貸金庫	小 （7.5×28.93×55.5）	4,950 円
		特中（10.0×28.93×55.5）	7,425 円
		中 （15.0×28.93×55.5）	9,900 円
		大 （30.0×28.93×55.5）	19,800 円
		青森中央A型（7.5×29.0×55.0）	4,620 円
		青森中央B型（10.0×29.0×55.0）	4,620 円
		青森中央C型（15.0×29.0×55.5）	6,600 円
		青森中央D型（30.0×29.0×55.5）	13,200 円
		青森中央E型（60.0×29.0×55.5）	26,400 円

（2025年1月1日 現在）

- (2) 使用料は、諸般の情勢により変更することがあります。
変更後の使用料は、変更日以後最初に到来する徴収日の属する使用料徴収期間から適用します。
- (3) 契約期間中に解約があった場合は、解約日の属する月までの使用料を支払ってください。

6. 鍵の保管

- (1) 貸金庫に付属する鍵正副2個のうち、正鍵は借主が保管し、副鍵は予備鍵として当行立会いのうえ借主が届出の印章により割印および封緘紙で封印し、当行が保管します。
- (2) 当行が保管する副鍵は、取引店で保管せず、本部で保管します。
- (3) 解約する場合は、副鍵を取り寄せる必要がありますので事前にお知らせください。
- (4) 副鍵の取り寄せには、数日時間を頂戴します。解約は原則、副鍵の取り寄せ後、受付しますのでご了承ください。

7. 貸金庫の開閉等

- (1) 貸金庫の開閉は、借主または借主があらかじめ届け出た代理人が正鍵を使用して行ってください。
- (2) 開庫にあたっては、当行所定の貸金庫開扉票に届出の印章により記名押印して提出してください。なお、閉庫後は貸金庫の施錠を確認してください。
- (3) 格納品の出し入れは、当行の指定する場所で行ってください。

8. 届出事項の変更等

- (1) 印章を失ったとき、または印章、名称、代表者、代理人、住所、その他の届出事項に

変更があったときは、ただちに書面によって貸金庫契約店に届けてください。
この届出の前に届出を行わなかったことにより生じた損害については、当行は責任を負いません。
正鍵を失ったときもしくは毀損したときも同様とします。

- (2) 届出のあった名称、住所にあてて当行が通知または送付書類を発送した場合には、延着しましたは到着しなかったときでも、通常到着すべきときに到着したものとみなします。

9. 印章、鍵の喪失時等の取扱い

- (1) 印章もしくは正鍵を失った場合の貸金庫の開閉は、当行所定の手続きをした後に行ってください。
 - (2) 正鍵を失った場合、または毀損した場合は、錠前の取り替え等に要する費用を支払ってください。
- なお、当行が貸金庫の変更を求めたときは、ただちにこれに応じてください。

10. 印鑑照合等

貸金庫開扉票、諸届その他の貸金庫取引に関する書類に使用された印影を届出の印鑑と相当の注意をもって照合し、相違ないものと認めて、開扉その他の取扱いをしましたうへは、それらの書類につき偽造、変造その他の事故があってもそのために生じた損害については、当行は責任を負いません。
なお、使用される鍵については、当行は確認する義務を負いません。

11. 損害の負担等

- (1) 災害、事変、その他の不可抗力の事由または当行の責めによらない事由により、貸金庫設備に故障等が発生した場合には、貸金庫の開扉に応じられないことがあります。
このために生じた損害については、当行は責任を負いません。
- (2) 前項の事由による格納品の紛失、滅失、毀損、変質等の損害についても当行は責任を負いません。
- (3) 借主もしくは代理人の責めに帰すべき事由または格納品の変質等により、当行または第三者が損害を受けたときは、その損害を賠償してください。

12. 反社会的勢力との取引拒絶

この貸金庫は、第13条第3項各号のいずれにも該当しない場合に使用することができ、第13条第3項各号の一にでも該当する場合には、当行はこの貸金庫の使用申込をお断りするものとします。

13. 解約等

- (1) この契約は、借主の申出によりいつでも解約することができます。
この場合、正鍵および届出の印章を持参し、当行所定の手続きをしたうへ、貸金庫を

ただちに明け渡してください。

なお、正鍵または届出の印章を失った場合に解約するときは、このほか第9条に準じて取扱います。

- (2) 次の各号の一にでも該当する場合には、当行はいつでもこの契約を解約できるものとします。

この場合、当行から解約の通知があったときは、ただちに前項と同様の手続をしたうえ貸金庫を明け渡してください。

第4条により契約期間が満了し、契約が更新されないときも同様とします。

- ① 借主が使用料を支払わないとき
- ② 借主について相続の開始があったとき
- ③ 借主もしくは代理人の責めに帰すべき事由または格納品の変質等により、当行もしくは第三者に損害を与え、またはそのおそれがあると認められる相当の事由が生じたとき
- ④ 店舗の改築、閉鎖その他相当の事由があるとき
- ⑤ 借主または代理人がこの規定に違反したとき
- ⑥ 借主名義人が存在しないことが明らかになったとき、または借主名義人の意思によらず契約、使用されたことが明らかになったとき
- ⑦ 本邦または外国の法令・規制や公序良俗に反する行為に利用され、またはそのおそれがあると認められるとき
- ⑧ 法令で定める本人確認等における確認事項や第3条に定める利用目的の申出内容に偽りがあるとき
- ⑨ マネー・ローンダリング、テロ資金供与、不正な目的で利用され、またはそのおそれがあると当行が認め、マネー・ローンダリング等防止の観点で解約が必要と当行が判断したとき

- (3) 前項のほか、次の各号の一にでも該当し、借主との取引を継続することが不適切であると当行が判断した場合には、当行はこの貸金庫の利用を停止し、または借主に通知することによりこの契約を解約することができるものとします。この場合、当行から解約の通知があったときは、ただちに第1項と同様の手続をした上貸金庫を明け渡してください。なお、この解約によって生じた損害については、当行は責任を負いません。また、この解約により当行に損害が生じたときは、その損害額を支払ってください。

- ① 借主が貸金庫使用申込時にした表明・確約に関して虚偽の申告をしたことが判明した場合
- ② 借主または代理人が、次のいずれかに該当したことが判明した場合
 - A. 暴力団
 - B. 暴力団員
 - C. 暴力団準構成員
 - D. 暴力団関係企業
 - E. 総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団等
 - F. その他前各号に準ずる者

- ③ 借主または代理人が、自らまたは第三者を利用して次のいずれかにでも該当する行為をした場合
- A. 暴力的な要求行為
 - B. 法的な責任を超えた不当な要求行為
 - C. 取引に関して、脅迫的な言動をし、または暴力を用いる行為
 - D. 風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて当行の信用を毀損し、または当行の業務を妨害する行為
 - E. その他前各号に準ずる行為
- (4) 第 2 項または第 3 項の明け渡しが遅延したときは、延滞損害金として解約日または契約期間の満了日の属する月の翌月から明け渡し日の属する月までの使用料相当額を月割計算によって支払ってください。
- この場合、第 5 条第 3 項にもとづく返戻金は、延滞損害金に充当します。
- 不足額が生じたときはただちに支払ってください。
- なお、当行はこの不足額を明け渡し日に第 5 条第 1 項の方法に準じて自動引落としすることができるものとします。
- (5) 第 2 項、第 3 項の明け渡しに 3 ヶ月以上遅延したときは、当行は副鍵を使用して貸金庫を開扉のうえ、格納品を別途管理し、もしくは一般に適当と認められる方法、時期、価格等により処分し、また処分が困難な場合には廃棄することができるものとします。
- なお、当行は貸金庫の開扉に際して公証人等に立会いを求めることができるものとします。
- これらに要する費用は借主の負担とします。
- (6) 使用料、延滞損害金およびその他借主が負担すべき費用が支払われないときは、前項の処分代金をこれに充当することができるものとします。
- この場合、不足額が生じたときは、当行からの請求がありしだい支払ってください。

14. 貸金庫の修繕、移転等

貸金庫の修繕または移転その他やむを得ない事情により、当行が格納品の一時引取りまたは貸金庫の変更を求めたときは、ただちにこれに応じてください。

15. 緊急措置

法令の定めるところにより、貸金庫の開扉を求められたとき、または店舗の火災、格納品の異変等緊急を要するときは、当行は副鍵を使用して貸金庫を開扉し臨機の処置をすることができるものとします。

このために生じた損害については、当行は責任を負いません。

16. 譲渡、転貸等の禁止

貸金庫の使用権は譲渡、転貸または質入れすることはできません。

17. 保証人

保証人は、この契約から生ずるすべての債務について借主と連帯して履行の責めに任ずるものとします。この契約が継続された場合も同様とします。

18. 規定の変更

- (1) この規定の各条項その他の条件は、金融情勢の状況の変化、その他相当の事由があると認められる場合には、当行ウェブサイトへの掲載による公表、その他相当の方法で周知することにより、変更できるものとします。
- (2) 前項の変更は、公表等の際に定める適用開始日から適用されるものとします。

以 上

貸金庫規定の改定内容

1. 貸金庫規定（一般型）

貸金庫規定（一般型）の改定内容は以下のとおりです。

改 定 前	改 定 後	備 考
1. 契約の成立 …記載省略	1. 契約の成立 …記載省略	
2. 各納品の範囲 (1)～(2) …記載省略	2. 各納品の範囲 (1)～(2) …記載省略 (3) 貸金庫には、次に掲げるものを格納することができません。 ① 現金その他のマネー・ローンダリングおよびテロ資金供与等の不正利用の防止の観点からリスクの高いと考えられるもの ② 危険物や変質、腐敗のおそれがある等、貸金庫の通常の用法による保管に適さないもの	(3) ①～② 新規追加
	3. 利用目的の確認 貸金庫の契約の締結または利用等にあたっては、借主はマネー・ローンダリングおよびテロ資金供与等の不正利用の防止の観点から、格納物が 2.に定める範囲を逸脱することがないかといった利用目的を、書面その他当行の定める方法で、申出を行うこととします。 貸金庫が、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与等、不正利用されることを防ぐため、貸金庫内外へのカメラ設置・記録や利用時の行員立ち会い等の適切な方法で貸金庫の利用状況を確認させていただきます。	新規追加
3. 契約期間等 …記載省略	4. 契約期間等 …記載省略	項番変更

貸金庫規定の改定内容

1. 貸金庫規定（一般型）

貸金庫規定（一般型）の改定内容は以下のとおりです。

改 定 前	改 定 後	備 考
4. 使用料 (1) ～ (3) …記載省略	<u>5.</u> 使用料 (1) ～ (3) …記載省略	項番変更
5. 鍵の保管 …記載省略	<u>6.</u> 鍵の保管 … (1) 記載省略 (2) 当行が保管する副鍵は、取引店で保管せず、本部で保管します。 (3) 解約する場合は、副鍵を取り寄せる必要がありますので事前にお知らせください。 (4) 副鍵の取り寄せには、数日時間を頂戴します。解約は原則、副鍵の取り寄せ後、受付しますのでご了承ください。	項番変更 (2) ～ (4) 新規追加
6. 貸金庫の開閉 …記載省略	<u>7.</u> 貸金庫の開閉等 …記載省略	項番変更
7. 届出事項の変更等 (1) ～ (2) …記載省略	<u>8.</u> 届出事項の変更等 (1) ～ (2) …記載省略	項番変更
8. 印章、鍵の喪失時の取扱い (1) ～ (2) …記載省略	<u>9.</u> 印章、鍵の喪失時の取扱い (1) ～ (2) …記載省略	項番変更
9. 印鑑照合等 …記載省略	<u>10.</u> 印鑑照合等 …記載省略	項番変更 項番変更

貸金庫規定（一般型）の改定内容は以下のとおりです。

3/6

貸金庫規定の改定内容

1. 貸金庫規定（一般型）

貸金庫規定（一般型）の改定内容は以下のとおりです。

改 定 前	改 定 後	備 考
	<p>⑥借主名義人が存在しないことが明らかになったとき、または借主名義人の意思によらず契約、使用されたことが明らかになったとき</p> <p>⑦本邦または外国の法令・規制や公序良俗に反する行為に利用され、またはそのおそれがあると認められるとき</p> <p>⑧法令で定める本人確認等における確認事項や第 3 条に定める利用目的の申出内容に偽りがあるとき</p> <p>⑨マネー・ローンダリング、テロ資金供与、不正な目的で利用され、またはそのおそれがあると当行が認め、マネー・ローンダリング等防止の観点で解約が必要と当行が判断したとき</p>	<p>⑥～⑨ 新規追加</p>
(3) …記載省略	(3) …記載省略	
① 貸金庫使用申込時にした表明・確約に関して虚偽の申告をしたことが判明した場合	①借主が貸金庫使用申込時にした表明・確約に関して虚偽の申告をしたことが判明した場合	新規追加
②借主または代理人が、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から 5 年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団等、その他これらに準ずる者（以下これらを「暴力団等」という。）に該当し、または次のいずれかに該当することが判明した場合	②借主または代理人が、次のいずれかに該当したことが判明した場合	記載内容変更
A. 暴力団員等が経営を支配していると認められる関係を有すること	A. 暴力団	
B. 暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること	B. 暴力団員	
C. 自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的	C. 暴力団準構成員	
	D. 暴力団関係企業	
	E. 総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団等	
	F. その他前各号に準ずる者	記載内容変更

貸金庫規定の改定内容

1. 貸金庫規定（一般型）

貸金庫規定（一般型）の改定内容は以下のとおりです。

改 定 前	改 定 後	備 考
<p>または第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に暴力団員等を利用していると認められる関係を有すること</p> <p>D. 暴力団員等に対して資金を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること</p> <p>E. 役員または経営に実質的に関与している者が暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有すること</p> <p>③…記載省略</p> <p>A～E…記載省略</p> <p>(4) …冒頭部分省略</p> <p>この場合、第 4 条第 1 項にもとづく返戻金は、延滞損害金に充当します。</p> <p>不足額が生じたときはただちに支払ってください。</p> <p>なお、当行はこの不足額を明け渡し日に第 4 条第 1 項の方法に準じて自動引落しすることができるものとします。</p> <p>(5) 第 1 項から第 3 項の明け渡しが 3 ヶ月以上遅延したときは、当行は副鍵を使用して貸金庫を開扉のうえ、格納品を別途管理し、もしくは一般に适当と認められる方法、時期、価格等により処分し、また処分が困難な場合には廃棄することができるものとします。</p> <p>なお、当行は貸金庫の開扉に際して公証人等に立会いを求めることができるものとします。</p> <p>これらに要する費用は借主の負担とします</p> <p>(6) …記載省略</p>	<p>③…記載省略</p> <p>A～E…記載省略</p> <p>(4) …冒頭部分省略</p> <p>この場合、第 5 条第 3 項にもとづく返戻金は、延滞損害金に充当します。</p> <p>不足額が生じたときはただちに支払ってください。</p> <p>なお、当行はこの不足額を明け渡し日に第 5 条第 1 項の方法に準じて自動引落しすることができるものとします。</p> <p>(5) 第 2 項、第 3 項の明け渡しが 3 ヶ月以上遅延したときは、当行は副鍵を使用して貸金庫を開扉のうえ、格納品を別途管理し、もしくは一般に适当と認められる方法、時期、価格等により処分し、また処分が困難な場合には廃棄することができるものとします。</p> <p>なお、当行は貸金庫の開扉に際して公証人等に立会いを求めることができるものとします。</p> <p>これらに要する費用は借主の負担とします</p> <p>(6) …記載省略</p>	<p></p> <p>項番変更</p> <p>項番変更</p> <p>項番変更</p>

貸金庫規定の改定内容

1. 貸金庫規定（一般型）

貸金庫規定（一般型）の改定内容は以下のとおりです。

改 定 前	改 定 後	備考
13. 貸金庫の修繕、移転等 …記載省略	<u>14.</u> 貸金庫の修繕、移転等 …記載省略	項番変更
14. 緊急措置 …記載省略	<u>15.</u> 緊急措置 …記載省略	項番変更
15. 譲渡、転貸等の禁止 …記載省略	<u>16.</u> 譲渡、転貸等の禁止 …記載省略	項番変更
	<u>17. 保証人</u> 保証人は、この契約から生ずるすべての債務について借主 と連帯して履行の責めに任ずるものとします。この契約が 継続された場合も同様とします。	新規追加
16. 規定の変更 …記載省略	<u>18.</u> 規定の変更 …記載省略	項番変更

貸金庫規定（自動型）

2026 年 4 月 1 日現在

1. 契約の成立

当行は、お客様からこの規定の取引に係る、当行所定の申込書の提出を受け、当行がこれを承諾したときに、当該取引に係る契約が成立するものとします。

2. 格納品の範囲

(1) 貸金庫には、次に掲げるものを格納することができます。

- ① 公社債券、株券その他の有価証券
- ② 預金通帳・証書、契約証書、権利書その他の重要書類
- ③ 貴金属、宝石その他の貴重品
ただし、壊れやすいものは収納できません。
- ④ 前各号に掲げるものに準ずると認められるもの

(2) 当行は前各号に掲げるものについても、相当の理由があるときは、格納をおことわりすることがあります。

(3) 貸金庫には、次に掲げるものを格納することができません。

- ① 現金その他のマネー・ローンダリングおよびテロ資金供与等の不正利用の防止の観点からリスクの高いと考えられるもの
- ② 危険物や変質、腐敗のおそれがある等、貸金庫の通常の用法による保管に適さないもの

3. 利用目的の確認

(1) 貸金庫の契約の締結または利用等にあたっては、借主はマネー・ローンダリングおよびテロ資金供与等の不正利用の防止の観点から、格納物が 2.に定める範囲を逸脱することがないかといった利用目的を、書面その他当行の定める方法で、申出を行うこととします。

(2) 貸金庫が、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与等、不正利用されることを防ぐため、貸金庫内外へのカメラ設置・記録や利用時の行員立ち会い等の適切な方法で貸金庫の利用状況を確認させていただきます。

4. 契約期間等

(1) この契約の当初契約期間は、契約日から最初に到来する 3 月 31 日までとします。

(2) 契約期間満了日までに借主または当行から解約の申出をしないかぎり、この契約は期間満了日の翌日から 1 年間継続されるものとし、継続後も同様とします。

5. 使用料

(1) 貸金庫の使用料は、次の料金表記載の料率にしたがい、毎年 3 月および 9 月の 10 日（ただし、該当日が休日の場合は、その翌営業日）に前 6 ヶ月分を後払いするものとし、借主が指定した預金口座から、当座勘定規定あるいは普通預金規定にかかわらず、当座小切手の振出しあるいは普通預金の通帳および払戻請求書の提出を省略して払

戻しのうえ使用料に充当します。

なお、当初の使用料は、契約時に契約日の属する月を1ヵ月として、その月から最初に到来する使用料徴収期限までの分を月割計算により支払ってください。

＜貸金庫使用料 料率表（6ヵ月当り、含む消費税）＞

種類	サイズ（単位：cm）	手数料額
自動型	A（5.6×24.8×54.0）	6,930 円
	B（7.5×24.8×54.0）	7,920 円
	C（10.0×24.8×54.0）	9,900 円
	D（20.0×24.8×54.0）	14,850 円
全自動型	A（6.0×26.0×45.0）	9,900 円
	B（10.5×26.0×45.0）	12,870 円
	C（6.0×26.0×35.0）	6,600 円
	D（10.0×26.0×35.0）	11,220 円
	E（14.0×26.0×35.0or45.0）	16,500 円
	F（21.6×26.0×45.0）	19,800 円

（2025年1月1日 現在）

- (2) 使用料は、諸般の情勢により変更することがあります。

変更後の使用料は、変更日以後最初に到来する徴収日の属する使用料徴収期間から適用します。

- (3) 契約期間中に解約があった場合は、解約日の属する月までの使用料を支払ってください。

6. 鍵・カードの保管

- (1) 貸金庫に付属する鍵正副2個のうち、正鍵は借主が保管し、副鍵は予備鍵として当行立会いのうえ借主が届出の印章により割印および封緘紙で封印し、当行が保管します。
- (2) 当行は借主に「SAFETY BOX CARD」（以下「カード」といいます。）を発行します。カードは借主自身が保管してください。
- (3) 当行が保管する副鍵は、取引店で保管せず、本部で保管します。
- (4) 解約する場合は、副鍵を取り寄せる必要がありますので事前にお知らせください。
- (5) 副鍵の取り寄せには、数日時間を頂戴します。解約は原則、副鍵の取り寄せ後、受付しますのでご了承ください。

7. 暗証の登録

借主が貸金庫の開扉にあたって使用する暗証を登録しますので、借主は当行に所定の暗証届を提出してください。

なお、登録した暗証の照会には応じません。

8. 開閉者の確認

当行所定の手続にしたがい、カード、暗証および正鍵により貸金庫を開閉した者を、借主（正当な契約者）とみなします。

なお、当行では開閉者の性別、年齢等の確認はいたしません。

9. 貸金庫の開閉等

- (1) 貸金庫の開閉は、借主または借主があらかじめ届け出た代理人が、カード、暗証および正鍵を使用して行ってください。
- (2) 開扉にあたっては、借主または借主のあらかじめ届け出た代理人が暗証照合機にカードを挿入し、届出の暗証をボタンにより操作してください。
- (3) 格納品の出し入れは、当行の指定する場所で行ってください。
- (4) 使用がすんだときは、必ず内函を元の位置に戻し、施錠して閉庫してください。それをなされなかったことにより生じた損害については、当行は責任を負いません。
- (5) 停電、故障等によりカードによる暗証照合機の取扱いができないときは、当行所定の「貸金庫開扉票」に記名、届出印を押印のうえ、カードとともに提出してください。

10. 届出事項の変更等

- (1) 印章を失ったとき、または暗証、印章、名称、代表者、代理人、住所、その他の届出事項に変更があったときは、ただちに書面によって当店に届けてください。
この届出の前に届出を行わなかったことにより生じた損害については、当行は責任を負いません。
カードまたは正鍵を失ったとき、もしくは毀損したときも同様とします。
- (2) 届出のあった名称、住所にあてて当行が通知または送付書類を発送した場合には、延着しまたは到着しなかったときでも、通常到着すべきときに到着したものとみなします。

11. カード、鍵の喪失時等の取扱い

- (1) カードもしくは正鍵を失った場合の貸金庫の開閉は、当行所定の手続きをした後に行ってください。
- (2) カードまたは正鍵を失った場合、もしくは毀損した場合は、錠前の取り替え、カードの再発行等に要する費用を支払ってください。
なお、当行が貸金庫の変更を求めたときは、ただちにこれに応じてください。

12. 暗証照合等

- (1) 暗証照合機によりカードを確認し、暗証照合機操作の際に使用された暗証と当行に届出の暗証との一致を確認して貸金庫を開閉しましたうえは、カードまたは暗証につき偽造、変造、盗用その他の事故があっても、そのために生じた損害については、当行は責任を負いません。
なお、第9条第5項の場合に当行窓口においてカードを確認し、「貸金庫開扉票」に使用された印影を届出の印鑑と相当の注意をもって照合し、相違ないと認めた場合は、印章につき偽造、変造、その他の事故があっても、そのために生じた損害については、当行は責任を負いません。
- (2) 諸届その他の貸金庫取引に関する書類に使用された印影を届出の印鑑と相当の注意をもって照合し、相違ないものと認めて取扱いをしましたうえは、それらの書類につき偽造、変造その他の事故があってもそのために生じた損害については、当行は責任を負いません。

(3) 貸金庫の開閉に使用される鍵について、当行は確認する義務を負いません。

13. 損害の負担等

- (1) 災害、事変、その他の不可抗力の事由または当行の責めによらない事由により、貸金庫設備に故障等が発生した場合には、貸金庫の開扉に応じられないことがあります。このために生じた損害については、当行は責任を負いません。
- (2) 前項の事由による格納品の紛失、滅失、毀損、変質等の損害についても当行は責任を負いません。
- (3) 借主もしくは代理人の責めに帰すべき事由または格納品の変質等により、当行または第三者が損害を受けたときは、その損害を賠償してください。

14. 反社会的勢力との取引拒絶

この貸金庫は、第 15 条第 3 項各号のいずれにも該当しない場合に使用することができ、第 15 条第 3 項各号の一にでも該当する場合には、当行はこの貸金庫の使用申込をお断りするものとします。

15. 解約等

- (1) この契約は、借主の申出によりいつでも解約することができます。
この場合、カード、正鍵および届出の印章を持参し、当行所定の手続きをしたうえ、貸金庫をただちに明け渡してください。
なお、カード、正鍵または届出の印章を失った場合に解約するときは、このほか第 11 条に準じて取扱います。
- (2) 次の各号の一にでも該当する場合には、当行はいつでもこの契約を解約できるものとします。
この場合、当行から解約の通知があったときは、ただちに前項と同様の手続きをしたうえ貸金庫を明け渡してください。
第 4 条により契約期間が満了し、契約が更新されないときも同様とします。
 - ① 借主が使用料を支払わないとき
 - ② 借主について相続の開始があったとき
 - ③ 借主もしくは代理人の責めに帰すべき事由または格納品の変質等により、当行もしくは第三者に損害を与え、またはそのおそれがあると認められる相当の事由が生じたとき
 - ④ 店舗の改築、閉鎖その他相当の事由があるとき
 - ⑤ 借主または代理人がこの規定に違反したとき
 - ⑥ カードの改ざん、不正使用など当行がカードの使用を不適当と認めたとき
 - ⑦ 借主名義人が存在しないことが明らかになったときまたは借主名義人の意思によらず契約、使用されたことが明らかになったとき
 - ⑧ 本邦または外国の法令・規制や公序良俗に反する行為に利用され、またはそのおそれがあると認められるとき
 - ⑨ 法令で定める本人確認等における確認事項や第 3 条に定める利用目的の申出内容に偽りがあるとき

- ⑩ マネー・ローンダリング、テロ資金供与、不正な目的で利用され、またはそのおそれがあると当行が認め、マネー・ローンダリング等防止の観点で解約が必要と当行が判断したとき
- (3) 前項のほか、次の各号の一にでも該当し、借主との取引を継続することが不適切であると当行が判断した場合には、当行はこの貸金庫の利用を停止し、または借主に通知することによりこの契約を解約することができるものとします。この場合、当行から解約の通知があったときは、ただちに第 1 項と同様の手続をした上貸金庫を明け渡してください。なお、この解約によって生じた損害については、当行は責任を負いません。また、この解約により当行に損害が生じたときは、その損害額を支払ってください。
- ① 借主が貸金庫使用申込時にした表明・確約に関して虚偽の申告をしたことが判明した場合
- ② 借主または代理人が、次のいずれかに該当したことが判明した場合
- A. 暴力団
 - B. 暴力団員
 - C. 暴力団準構成員
 - D. 暴力団関係企業
 - E. 総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団等
 - F. その他前各号に準ずる者
- ③ 借主または代理人が、自らまたは第三者を利用して次のいずれか一にでも該当する行為をした場合
- A. 暴力的な要求行為
 - B. 法的な責任を超えた不当な要求行為
 - C. 取引に関して、脅迫的な言動をし、または暴力を用いる行為
 - D. 風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて当行の信用を毀損し、または当行の業務を妨害する行為
 - E. その他前各号に準ずる行為
- (4) 第 2 項、第 3 項の明け渡しが遅延したときは、延滞損害金として解約日または契約期間の満了日の属する月の翌月から明け渡し日の属する月までの使用料相当額を月割計算によって支払ってください。
- この場合、第 5 条第 3 項にもとづく返戻金は、延滞損害金に充当します。
- 不足額が生じたときはただちに支払ってください。
- なお、当行はこの不足額を明け渡し日に第 5 条第 1 項の方法に準じて自動引落しすることができるものとします。
- (5) 第 1 項から第 3 項の明け渡しに 3 ヶ月以上遅延したときは、当行は副鍵を使用して貸金庫を開扉のうえ、格納品を別途管理し、もしくは一般に適当と認められる方法、時期、価格等により処分し、また処分が困難な場合には廃棄することができるものとします。
- なお、当行は貸金庫の開扉に際して公証人等に立会いを求めることができるものとします。
- これらに要する費用は借主の負担とします。

- (6) 使用料、延滞損害金およびその他借主が負担すべき費用が支払われないときは、前項の処分代金をこれに充当することができるものとします。

この場合、不足額が生じたときは、当行からの請求がありしだい支払ってください。

16. 貸金庫の修繕、移転等

貸金庫の修繕または移転その他やむを得ない事情により、当行が格納品の一時引取りまたは貸金庫の変更を求めたときは、ただちにこれに応じてください。

17. 緊急措置

法令の定めるところにより、貸金庫の開扉を求められたとき、または店舗の火災、格納品の異変等緊急を要するときは、当行は副鍵を使用して貸金庫を開扉し臨機の処置をすることができるものとします。

このために生じた損害については、当行は責任を負いません。

18. 譲渡、転貸等の禁止

- (1) 貸金庫の使用権は譲渡、転貸または質入れすることはできません。
- (2) カードは譲渡、質入れすることはできません。

19. 保証人

保証人は、この契約から生ずるすべての債務について借主と連帯して履行の責めに任ずるものとします。この契約が継続された場合も同様とします。

20. 規定の変更

- (1) この規定の各条項その他の条件は、金融情勢の状況の変化、その他相当の事由があると認められる場合には、当行ウェブサイトへの掲載による公表、その他相当の方法で周知することにより、変更できるものとします。
- (2) 前項の変更は、公表等の際に定める適用開始日から適用されるものとします。

以 上

貸金庫規定の改定内容

1. 貸金庫規定（自動型）

貸金庫規定（自動型）の改定内容は以下のとおりです。

改 定 前	改 定 後	備 考
1. 契約の成立 …記載省略	1. 契約の成立 …記載省略	
2. 各納品の範囲 (1)～(2) …記載省略	2. 各納品の範囲 (1)～(2) …記載省略 (3) 貸金庫には、次に掲げるものを格納することができません。 ① 現金その他のマネー・ローンダリングおよびテロ資金供与等の不正利用の防止の観点からリスクの高いと考えられるもの ② 危険物や変質、腐敗のおそれがある等、貸金庫の通常の用法による保管に適さないもの	(3) ①～② 新規追加
	3. 利用目的の確認 (1) 貸金庫の契約の締結または利用等に当たっては、借主はマネー・ローンダリングおよびテロ資金供与等の不正利用の防止の観点から、格納物が 2.に定める範囲を逸脱することがないかといった利用目的を、書面その他当行の定める方法で、申出を行うこととします。 (2) 貸金庫が、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与等、不正利用されることを防ぐため、貸金庫内外へのカメラ設置・記録や利用時の行員立ち会い等の適切な方法で貸金庫の利用状況を確認させていただきます。	新規追加
3. 契約期間等 …記載省略	4. 契約期間等 …記載省略	項番変更

貸金庫規定の改定内容

1. 貸金庫規定（自動型）

貸金庫規定（自動型）の改定内容は以下のとおりです。

改 定 前	改 定 後	備考
9. 届出事項の変更等 …記載省略	10. 届出事項の変更等 …記載省略	項番変更
10. カード、鍵の喪失時等の取扱い …記載省略	11. カード、鍵の喪失時等の取扱い …記載省略	項番変更
11. 暗証照合等 (1) …冒頭省略 なお、第8条第5項の場合に当行窓口においてカードを確認し、「貸金庫開扉票」に使用された印影を届出の印鑑と相当の注意をもって照合し、相違ないと認めた場合は、印章につき偽造、変造、その他の事故があっても、そのために生じた損害については、当行は責任を負いません。 (2) ～ (3) …記載省略	12. 暗証照合等 (1) …冒頭省略 なお、第9条第5項の場合に当行窓口においてカードを確認し、「貸金庫開扉票」に使用された印影を届出の印鑑と相当の注意をもって照合し、相違ないと認めた場合は、印章につき偽造、変造、その他の事故があっても、そのために生じた損害については、当行は責任を負いません。 (2) ～ (3) …記載省略	項番変更 項番変更
12. 損害の負担等 (1) ～ (3) …記載省略	13. 損害の負担等 (1) ～ (3) …記載省略	項番変更
13. 反社会的勢力との取引拒絶 この貸金庫は、第 14 条第 3 項各号のいずれにも該当しない場合に使用することができ、第 15 条第 3 項各号の一にでも該当する場合には、当行はこの貸金庫の使用申込をお断りするものとします。	14. 反社会的勢力との取引拒絶 この貸金庫は、第 15 条第 3 項各号のいずれにも該当しない場合に使用することができ、第 15 条第 3 項各号の一にでも該当する場合には、当行はこの貸金庫の使用申込をお断りするものとします。	項番変更 項番変更

貸金庫規定の改定内容

1. 貸金庫規定（自動型）

貸金庫規定（自動型）の改定内容は以下のとおりです。

改 定 前	改 定 後	備考
<p>14. 解約等</p> <p>(1) …冒頭部分省略</p> <p>なお、カード、正鍵または届出の印章を失った場合に解約するときは、このほか第10条に準じて取扱います。</p> <p>(2) …冒頭部分省略</p> <p>この場合、当行から解約の通知があったときは、ただちに前項と同様の手続をしたうえ貸金庫を明け渡してください。</p> <p>第3条により契約期間が満了し、契約が更新されないときも同様とします。</p> <p>①～⑥…記載省略</p> <p>(3) …記載省略</p> <p>①貸金庫使用申込時にした表明・確約に関して虚偽の申告をしたことが判明した場合</p>	<p>15.解約等</p> <p>(1) …冒頭部分省略</p> <p>なお、カード、正鍵または届出の印章を失った場合に解約するときは、このほか第11条に準じて取扱います。</p> <p>(2) …冒頭部分省略</p> <p>この場合、当行から解約の通知があったときは、ただちに前項と同様の手続をしたうえ貸金庫を明け渡してください。</p> <p>第4条により契約期間が満了し、契約が更新されないときも同様とします。</p> <p>①～⑥…記載省略</p> <p>⑦借主名義人が存在しないことが明らかになったときまたは借主名義人の意思によらず契約、使用されたことが明らかになったとき</p> <p>⑧本邦または外国の法令・規制や公序良俗に反する行為に利用され、またはそのおそれがあると認められるとき</p> <p>⑨法令で定める本人確認等における確認事項や第3条に定める利用目的の申出内容に偽りがあるとき</p> <p>⑩ マネー・ローンダリング、テロ資金供与、不正な目的で利用され、またはそのおそれがあると当行が認め、マネー・ローンダリング等防止の観点で解約が必要と当行が判断したとき</p> <p>(3) …記載省略</p> <p>①借主が貸金庫使用申込時にした表明・確約に関して虚偽の申告をしたことが判明した場合</p>	<p>項番変更</p> <p>項番変更</p> <p>⑦～⑩ 新規追加</p> <p>新規追加</p>

貸金庫規定の改定内容

1. 貸金庫規定（自動型）

貸金庫規定（自動型）の改定内容は以下のとおりです。

改 定 前	改 定 後	備考
<p>② 借主または代理人が、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団等、その他これらに準ずる者(以下これらを「暴力団等」という。)に該当し、または次のいずれかに該当することが判明した場合</p> <p>A. 暴力団員等が経営を支配していると認められる関係を有すること</p> <p>B. 暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること</p> <p>C. 自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に暴力団員等を利用していると認められる関係を有すること</p> <p>D. 暴力団員等に対して資金を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること</p> <p>E. 役員または経営に実質的に関与している者が暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有すること</p> <p>③…記載省略</p> <p>A～E…記載省略</p> <p>(4) …冒頭部分記載省略</p> <p>この場合、第4条第3項にもとづく返戻金は、延滞損害金に充当します。</p> <p>不足額が生じたときはただちに支払ってください。</p>	<p>② 借主または代理人が、次のいずれかに該当したことが判明した場合</p> <p>A. 暴力団</p> <p>B. 暴力団員</p> <p>C. 暴力団準構成員</p> <p>D. 暴力団関係企業</p> <p>E. 総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団等</p> <p>F. その他前各号に準ずる者</p> <p>③…記載省略</p> <p>A～E…記載省略</p> <p>(4) …冒頭部分記載省略</p> <p>この場合、第5条第3項にもとづく返戻金は、延滞損害金に充当します。</p> <p>不足額が生じたときはただちに支払ってください。</p>	<p>記載内容変更</p> <p>項番変更</p>

貸金庫規定の改定内容

1. 貸金庫規定（自動型）

貸金庫規定（自動型）の改定内容は以下のとおりです。

改 定 前	改 定 後	備 考
<p>なお、当行はこの不足額を明け渡し日に第 4 条第 1 項の方法に準じて自動引落しすることができるものとします。</p> <p>(5) ～ (6) …記載省略</p>	<p>なお、当行はこの不足額を明け渡し日に第 5 条第 1 項の方法に準じて自動引落しすることができるものとします。</p> <p>(5) ～ (6) …記載省略</p>	項番変更
<p>15. 貸金庫の修繕、移転等</p> <p>…記載省略</p>	<p>16. 貸金庫の修繕、移転等</p> <p>…記載省略</p>	項番変更
<p>16. 緊急措置</p> <p>…記載省略</p>	<p>17. 緊急措置</p> <p>…記載省略</p>	項番変更
<p>17. 譲渡、転貸等の禁止</p> <p>…記載省略</p>	<p>18. 譲渡、転貸等の禁止</p> <p>…記載省略</p>	項番変更
	<p>19. 保証人</p> <p>保証人は、この契約から生ずるすべての債務について借主と連帯して履行の責めに任ずるものとします。この契約が継続された場合も同様とします。</p>	項番変更・新規追加
<p>18. 規定の変更</p> <p>…記載省略</p>	<p>20. 規定の変更</p> <p>…記載省略</p>	項番変更